



週報 第3089回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 真理子
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2020年11月6日)

■ プログラム

卓話担当 吉本 佳子 会員
「産業医について」

■ 次週のプログラム

11月13日: クラブフォーラム
高寺 壽 ロータリー財団委員長

■ 今後の予定

- ・11月20日: 「私の履歴書」
道正田 均 会員
- ・11月27日: 大和リース株式会社
大阪本店 流通建築リース営業所
課長代理 本田 考周 様

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

我等の生業

■ 先週の例会

会長の時間

昨日お月様を見られましたか? 少し雲がかかってきましたが、きれいなお月さまでした。昨日は、13夜旧暦の9月13日、昔から15夜とならび月がきれいに 白谷 喜世彦 会長 見える人言われています。13夜はまた季節にちなみ粟名月ともいわれています。15夜と13夜どちらも見るのがいいといわれ、片方だけしかみないのは方月見をいわれ縁起が悪いとされています。さて、11月3日アメリカ大統領選挙です。でも見ていると、世界の民主主義のリーダーだったはずのアメリカとは思えないほどのドタバタ。民主主義の生末に不安を感じさせます。1945年太平洋戦争の終結以来、さらに1985年の東西冷戦構造の崩壊で世界は、資本主義と民主主義の両輪で豊かになっていったし、そのまま豊かになると思われました。しかし、資本主義、民主主義はその強力なゆえ、大きな弱点を抱えています。これは企業家の人の権利を保護し、それらの利益を追求させる欲によって大きな成果を上げていきました。ところがいまやそれが行き過ぎて、自分の利益だけを考えればいいと思う風潮となってきたのです。最も貧しい大統領として有名だったウルグアイのホセムヒカは、2012年の国連会議で、「貧乏な人と



IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3089回

は、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と語りかけました。

まさに、この言葉のとおりとなり、みんなの幸せの総和はどんどん減ってきているように思えます。ムヒカは「成長を求めぬ、幸せを求めよ」ともいいました。

私たちがとっての幸せとは何でしょう。そして安心とはなんなのでしょう。

私にとっての幸せなのは、気心の知れたひとたちに囲まれて、生活にこまらずに暮らすこと。そしてその状態が長く続いていくこと。持続可能であること。いまでいうサステナビリティであること。しかし、世界を日本全土を見たときにそれはむつかしいように思えます。しかし、地域、泉大津だけを見るとある程度の可能性があるとあります。そしてそれは泉大津だからこそだと思います。これに大事なことは他社との関係性をどうもつか。よき関係はなかなか一朝一夕で持てるものではありません。しかし、泉大津では、親子三代といえはいいすぎかも知れませんが、よき人間関係があり、自助、共助の目もあり。そして公助も他の地域と比べるとあるように思えます。こんなロータリーはまさにこのような関係を次代につなぐ機会の扉であるように思えます。そんなことを感じながら、これから一人でも多くのよき友人、隣人がふえていってくればと思っています。

幹事報告 小門 茂樹 幹事

なし

委員会報告

なし

■ ビジター なし

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
10/30	37名	6名	—	86.05%
10/16	34名	9名	4名	88.37%

■ メークアップ

榎本(10/22 高師浜RC)
南出、中、植村(10/2 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・田中様、向井様、今日はありがとうございます(白谷)
- ・本日は大阪赤十字血液センター田中様、向井様、卓話を宜しくお願いします(小門)
- ・本日は、大阪府赤十字血液センター田中様、向井様、よろしく申し上げます(山本(博))
- ・赤十字血液センター田中課長様、向井主任様、本日はありがとうございます(寺田)
- ・欠席のおわび(小野寺)
- ・早退のおわび(高寺)
- ・早退のお詫び(八木(秀))
- ・早退のおわび(今井)

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	273,000円

先週のプログラム

「献血の現状について」



卓話講師 大阪府赤十字血液センター
南大阪事業所 事業課長 田中 英樹 様

新型コロナウイルスの感染拡大が非常に懸念される現在ですが、血液事業におきましても大きな影響が出ております。

毎年定期的にお願ひしております事業所での献血や学生を中心に協力をお願いする学校での献血が、数多く中止となっております。また、地域のお祭り、イベント関係もほとんど中止となり、そちらでの協力もお願いできない状況です。中止となりました献血会場は、駅前やショッピングモール等に配車先を変更して献血者の確保に努めておりますが、感染拡大防止対策として不要不急の外出の自粛が求められて

いる中、献血者は大きく減少しております。

血液センターでは、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた感染予防対策として、献血者に対して、体温測定、マスク着用、手指消毒の徹底を行い、新型コロナウイルスに関する問診強化も行っております。加えて、献血後に新型コロナウイルスの発症等があった場合には、血液センターまでご連絡をいただくようお願いしております。血液センター職員につきましては、日々の健康チェックや手指消毒の徹底、マスクの着用はもとより、看護師におきましては、献血者ごとに新しい手袋に交換して感染予防にあたっております。献血会場におきましても、密集、密接、密閉とならないよう良好な環境等の保持に努めております。

このようなコロナ禍におきましても、毎日全国で約3,000人の患者さんが血液を必要とされており、1回の輸血で平均4-5人分の血液が必要となりますので、1日に約13,000人の献血者を確保しなければなりません。

献血には、血液中のすべての成分を採血する全血献血(400mL・200mL)と特定の成分だけを採血する成分献血(血しょう・血小板)があります。全血献血は献血パスと固定施設(献血ルーム等)でご協力いただけますが、成分献血は固定施設のみとなっております。

輸血といえば事故や手術での大量出血をした方に多く使用されているイメージがありますが、現在では病気の治療における輸血が約8割を占めており、4割近くがガンの患者さんに使われております。これは安定的に継続して血液を確保する必要がありますということになります。

輸血の方法としては、患者さんが必要とする血液製剤(赤血球・血しょう・血小板)だけを輸血する成分輸血という方法を行っており、血液製剤ごとに有効期間、保存方法、保存温度が異なります。また、輸血を受ける患者さんを年齢で見ると、50歳以上の方が8割以上となっており、少子高齢化が進む中、将来、血液の確保が益々困難になってくるのが予想されます。

しかしながら現在は、10代から30代の若年層の献血が減少しており、赤十字では若年層対策として、有名スポーツ選手、芸能人などを起用して様々なキャンペーンを行っていますが、思うような成果が上がっていないのが現状です。

今後は、安定的に血液を確保するために、

- ・若年層(10代-30代)の献血率の向上
- ・企業献血等の開拓
- ・献血予約やメール(LINE)等の依頼により、複

数回献血の増加を図る

- ・SNS等での情報発信により献血周知度をアップさせる

等の方策を講じながら、若い方を中心とした献血推進を図り、輸血用血液製剤の安定確保に努めてまいりますので、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3089回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか